

## 1 溝掘りの確実な実施

参照ページ:p68

中干しを田植後4週間までに開始するため、溝掘りは田植後3週間頃を目安に必ず実施しましょう！

### 《溝掘りの効果》

- 圃場への入・排水が短時間で均一に行え、水管理がしやすくなります。
- 圃場全体が同じように乾き、収穫作業が行いやすくなります。

溝と溝はきちんと  
連結しましょう。



### 《溝掘りのポイント》

○溝を掘る2~3日前に落水し、土がやや硬くなった状態(土壌表面が乾く程度)にしましょう。

- 溝掘り作業直前に、ひたひた水程度まで再度入水してから掘りましょう(作業後は落水して下さい)。
- 設置の目安は5m(15条)に1本程度とし、圃場の周囲と中央の1本は特にしっかり掘りましょう。
- 水がいつも溜まっているところや乾きにくいところは、溝を多く掘りましょう。
- 溝は深く掘り下げた水尻に確実に連結して下さい。
- 溝が埋まった場合は再度掘り直しましょう。

## 2 中干しの実施

参照ページ:p69

中干しは根を地中深く張らせるために大切な作業です。適期に中干しを行うことで、様々な効果が得られます。

### 《中干しの効果》

- ①発根の促進、稲体の健全化
- ②土壌内の有害ガスの除去
- ③過剰分けつの発生抑制
- ④適正な葉色への誘導
- ⑤収穫時に機械作業が可能な地耐力の確保

### 《中干し開始の時期と方法》

○田植後4週間までに開始しましょう。

本格的な梅雨に入ると、十分に中干しができないので、注意して下さい。

中干し終了の目安は、圃場中央部でくるぶしが軽く沈む程度(足跡深さ3cm程度)が目安です。



適切な中干し後の状態

### 【圃場条件別の「中干し」の目安】

	乾きやすい圃場 (砂質田・黒ボク等)	乾きにくい圃場 (半湿田・粘質田)
方法	3日間程度で弱めに干す	5~7日間程度で強めに干す
仕上げ程度	 ・小さなヒビが入る程度	 ・足が少し沈む程度

## 3 中干し後の水管理

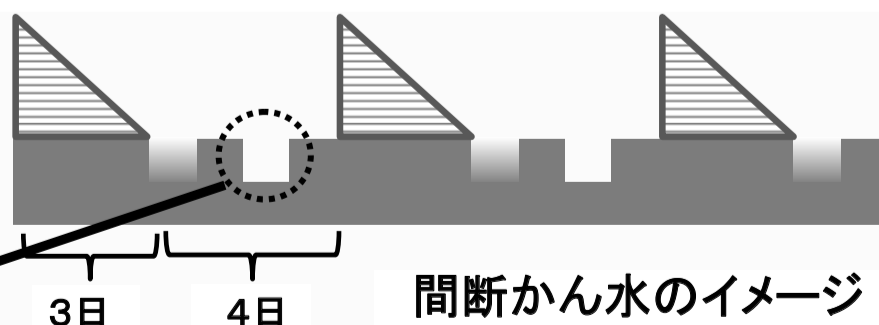
参照ページ:p70

○中干し後から幼穂形成期までは「**間断かん水**」をしましょう。

根は幼穂形成期まで急速に増えます。幼穂形成期まで湛水と落水を繰り返す「間断かん水」で、土壌に酸素と水を供給して根の発達を促しましょう。



足跡水がなくなったら入水



#### 【間断かん水の方法】

- 乾きやすい圃場：入水→自然落水→2~3日落水
- 乾きにくい圃場：入水→自然落水→4~5日落水

【You Tube】

JA アルプス農業情報ボックス

9 溝掘り・中干し



10 中干し後の  
水管理



## 4 中・後期除草剤の適正使用

参照ページ:p67

～散布にあたっては、使用基準を遵守！～

- 雑草の発生状況を確認し、適期に散布しましょう。
  - 散布前に、水の入替えを行いましょ。
  - 散布後5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水しないで下さい。
- ※バサグラン粒剤、トドメバスMF液剤は落水散布。

除草剤名	対象雑草	10a当たり 使用量	使用時期	使用 回数	使用上の注意点
ワイドショット 1キロ粒剤	水田一年生雑草 マツパイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ 他	1kg	移植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)	1回	・イネ4葉期以前の使用は避ける。 ・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。
サンパンチ 1キロ粒剤	一年生雑草 多年生広葉雑草 キシウズズメノヒエ <small>アオミドロ・藻類による表層はく離</small>	1kg	移植後15日～ ノビエ3葉期まで (収穫60日前まで)	1回	・イネ4葉期以前の使用は避ける。 ・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。
テッケン 1キロ粒剤	一年生雑草および 多年生広葉雑草	1kg	移植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	1回	・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。 ・効果を高めるため、5cm程度の湛水状態で散布する。
テッケン ジャンボ	一年生雑草および 多年生広葉雑草	50g× 10袋 (500g)	移植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	1回	・藻が多発している圃場では拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足の可能性があるので、使用を避ける。 ・効果を高めるため、6cm以上の深水状態で使用する。
バサグラン粒剤	マツパイ、ホタルイ、 オモダカ、 ミズガヤツリ 他	3～4kg	移植後15～55日 (収穫60日前まで)	1回	・ノビエには効きません。 ・晴天の持続する時(2日以上)を選んで散布する。 ・落水または、ごく浅水で散布する。 ・散布後3～4日間は入水・落水しない。
クリンチャー 1キロ粒剤	ノビエ	1kg	移植後7日～ ノビエ4葉期まで (収穫30日前まで)	2回以内	・ノビエ専用剤で残効性がない。 ・効果を高めるため、5cm程度の湛水状態で散布する。
		1.5kg	移植後25日～ ノビエ5葉期まで (収穫30日前まで)		
トドメMF 1キロ粒剤		1kg	移植後14日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)		
クリンチャー バスME液剤	一年生雑草、ホタルイ、 ウリカワ、ミズガヤツリ、 オモダカ 他	1,000mℓ 希釈水量 70～100ℓ	移植後15日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	2回以内	・晴天日を選び落水散布、又はごく浅く湛水して散布する。 ・雑草の茎葉に付着するよう丁寧に散布する。 ・散布後3～5日間は入水・落水しない。 ・展着剤は加用しない。
トドメバスMF 液剤	一年生および 多年生雑草	1,000mℓ 希釈水量 100ℓ	移植後15日～ ノビエ6葉期まで (収穫50日前まで)	2回以内	・晴天日を選び落水散布、又はごく浅く湛水してA散布する。 ・散布後7日間は入水・落水しない。 ・展着剤は加用しない。

## 5 中間追肥

6月下旬に、ケイ酸質資材を施用しましょう。  
施用後2～3日は水を溜めたままにして下さい。

### 《効果》

- 根の活力を高め下葉の枯れ上がりを防ぎます。
- 茎を硬く、倒伏や病気に強い稲体にします。

肥料名	施用量
エスアイ加里らくだ	15kg/10a
珪酸加里	20kg/10a